

第2次天草広域連合行政改革大綱実施計画進行管理表(重点項目)

重点項目	実施項目	平成23年度			平成24年度		
		1年間の取組みの総括	成果と課題	評価(方向性)	1年間の取組みの総括	成果と課題	方向性
I 事務の効率化							
(1) 事務事業の見直し							
研修	研修協議会との連携・活用	研修内容は、(財)自治研修協会作成の「課題研究用事例」を活用	共同研修を継続しながら、単独移行に向けた協議調整を実施する。	A ②継続	研修内容は、(財)自治研修協会作成の「課題研究用事例」を活用	共同研修を継続しながら、単独移行に向けた協議調整を実施する。	④中止
サイン	新サインの検討・開発	未実施	新サインの検討・開発の計画は未定、市町への単独移行を協議する。	④変更	未実施	新サインの検討・開発の計画は未定、市町への単独移行を協議する。	③変更
消防	事務局と消防部局の共通事務の集約化	事務局と消防部局の共通事務の集約化を図るために、新消防庁舎へ、事務局と併設を念頭におき庁舎建設事業を進めた。	組織の見直しと合致した共通事務の効率化を検討する。	C ②継続	事務局と消防部局の共通事務の集約化を図るために、新消防庁舎へ、事務局と併設を念頭におき庁舎建設事業を進めた。	組織の見直しと合致した共通事務の効率化を検討する。	②継続
ごみ	集会施設の管理運営方法等の協議検討	未実施	31年度を目処に検討する。	③継続	未実施	31年度を目処に検討する。	②継続
事務	最小経費で最大の効果を目的に、効率化、スリム化を推進	未実施	各事務において協議検討を行なうこととする。	⑤中止			
(2) 民間委託等の推進							
研修	研修講師の民間委託の推進	(財)自治研修協会へ2名の講師派遣依頼	今後も自治研修協会へ依頼を継続する。	②継続	事務事業の見直しの項目と総合的に進める。	項目の見直し	②継続
サイン	継続的維持管理及び民間活力の活用	圏域外のサインの確認作業	維持管理を実施しながら有効活用を努める。	A ②継続	圏域外のサインの確認作業	維持管理を実施しながら有効活用を努める。	④中止
ごみ	処理施設、集会施設の管理運営業務の民間委託の推進	職員の退職に伴い、民間委託を拡大した。今後も、同様の取組みを進めていく。新施設については、全面委託の方向で検討を進める(DBO式)。	民間委託の推進による経費削減が図られた。	B ②継続	職員の退職に伴い、民間委託を拡大した。今後も、同様の取組みを進めていく。新施設については、全面委託の方向で検討を進める(DBO式)。	今後も業務委託の拡大を図る。	②継続
(3) 情報化・情報提供の推進							
介護	認定システム情報の共有化、認定システムの更新・設置	定期的なシステム担当者会議を通じて、必要な情報の共有を行った。 システム機器更新に向け、関係市町と十分協議し、円滑な導入に努めた。	次年度以降も継続して情報共有の推進を図る。 次年度の機器設置完了に向け、計画を推進する。	A ②継続	システムサーバ機器更新を円滑に行うことができた。 運用保守体制については、委託業者との連絡をより緊密にし、適正な業務の推進を図ることができた。	次年度以降も継続して情報共有の推進を図る。 運用支援委託業者への指示、管理をより充実させられるよう努める。	②継続
サイン	情報化の推進	未実施	市町への単独移行の協議を推進する。	④変更	未実施	市町への単独移行の協議を推進する。	③変更
消防	情報の共有化による事務の効率化推進	平成23年2月に構築した消防本部と署・分署間での消防情報ファイルサーバの活用推進を図った。	消防情報データの一元管理がなされた。職員が情報共有の趣旨を理解し、積極的な活用を推進する。	B ②継続	庁舎移転に伴う消防本部と署・分署間を天草市光ケーブル、天草ケーブルネットワークの光ケーブル及びNTT光ケーブル等によりネットワークを再構築するよう計画した。	高機能消防指令システムのネットワーク構築と併せてネットワーク構築を推進する。	②継続
ごみ	ごみ処理施設の維持管理の情報提供	施設の維持管理情報のホームページ掲載を開始した。10月広報誌にも前年分を掲載した。	新施設の進捗状況も掲載していく必要がある。	A ②継続	施設の維持管理情報のホームページ掲載を開始した。10月広報誌にも前年分を掲載した。	今後も継続する。新施設の進捗状況も掲載していく必要がある。	②継続
II 組織・機構の効率化							
(1) 組織の機能強化							
消防	消防署所再編の推進	「分遣所」を「分署」へ名称変更した。倉岳分署、御所浦分署へ積載車を配備した。再任用に関する条例、規則の検討及び整備した。	積載車の配備と、再任用により初任科入校中の勤務人員の確保がなされた。	B ②継続	再任用に関する条例規則に伴い、再任用を実施した。	今後数年間は職員が大量退職するため、新入職員が消防学校入校期間中は再任用制度を活用して人員確保を図る必要がある。	②継続
事務	行政運営の迅速化による住民サービスの向上を推進	未実施	各事務において協議検討を行なうこととする。項目の見直し	④変更	未実施	各事務において協議検討を行なうこととする。項目の見直し	③変更
(2) 組織体制の効率化							
介護	効率的な組織体制の検討	管理運営の方向性の検討と総合的に進める。	項目の見直し	④変更	検討委員会、議会特別委員会等の議論を踏まえ、必要な準備について検討を行った。	検討委員会の報告を受け、さらに協議を深め、課題の把握と解決方法の検討を行う。	②継続
介護	管理運営の方向性の検討	共同設置への移行がより効果的との見解をまとめ、検討委員会に提出した。	次年度以降も継続して事務のあり方に関する検討を行う。	B ③継続			
消防	消防部局と事務局の組織機構改革の推進	新消防庁舎の建設事業に合わせて、事務局と消防部局の組織機構改革の検討を実施した。	連合のあり方についての検討が必要	C ②継続	新消防庁舎の建設事業に合わせて、事務局と消防部局の組織機構改革の検討を実施した。	共通事務処理の分野から組織改革を進める。「連合のあり方」について検討を進める。	②継続
ごみ	圏域5か所のごみ処理施設の整理・統合	建設候補地の選定作業の経緯の中で、整理・統合し、1施設とすることに決定された。	今後は1施設の建設を推進していく。	C ②継続	ごみ処理施設1か所への統合に向けて、有力な建設候補地の住民説明会を開催し、現地調査への理解を得た。	1施設計画で有力な候補地の建設推進に取り組む。	②継続
ごみ	最終処分場の拡張及び効率的な体制の協議	整地工事の協議に併せた、拡張への取組みを図ったが、整地工事が協議途中であるため、拡張協議が進展しなかった。	引き続き干拓組合との協議を進める。	C ③継続	拡張に向けての住民説明会を開催し、現地調査への理解を得た。	拡張事業計画により、引き続き地元との協議を進める。	②継続
事務	広域行政の見直し、検討	広域行政調査検討委員会最終報告平成24年3月30日	継続して委託等の規約について協議を進める。	C ②継続	5月31日：議会特別委員会へ報告 平成25年2月19日：第1回定例会議会特別委員長の報告	検討部会において協議を進める。	②継続
事務	行政運営責任の明確化を推進	未実施	各事務において協議検討を行なうこととする。(項目の見直し)	④変更	未実施	各事務において協議検討を行なうこととする。(項目の見直し)	③変更

III 定員及び給与等の適正化								
(1) 定員管理の適正化								
消防	退職者再雇用制度の推進	再任用に関する条例、規則の検討及び整備した。	消防再任用職員と空港消防隊への採用のバランスを取る必要がある。	C ②継続	新入職員が消防学校入校中の人員確保として再任用3人(4月～9月)、天草空港3人(10月～3月)を確保した。	年度毎の退職者数と、再任用職員及び天草空港消防隊の人員調整が必要。 退職者が減少する時期の取り扱いについて検討が必要。	②継続	
共通	定員管理計画による職員数の削減	未実施	事務局の職員の減は、市町の派遣職員で対応する。	②継続	未実施	事務局の職員の減は、市町の派遣職員で対応する。	②継続	
(2) 人事管理の適正化								
消防	人事評価制度の改善検討	昇任、昇給、昇格などの公正な処遇への反映、期待する人材の育成、士気の高揚と組織の活性化、適材適所の配置・異動など、その活用に努めた。	引き続き、本制度の良好な運用に努める。	D ②継続	昇任、昇給、昇格などの公正な処遇への反映、期待する人材の育成、士気の高揚と組織の活性化、適材適所の配置・異動など、その活用に努めた。	引き続き、本制度の良好な運用に努める。	②継続	
(3) 給与等の適正化								
介護	審査会委員の報酬等の検討	未実施	他圏域等の状況調査、情報収集に努める。	②継続	未実施	他圏域等の状況調査、情報収集に努める。	②継続	
消防	特殊勤務手当等の見直し検討	未実施	早期に検討に着手する。	③継続	未実施	随時検討する	②継続	
IV 人材育成・確保								
(1) 人材育成の推進								
介護	委員研修の実施	県主催研修会への参加を促し、適正な研修の実施ができた。	県主催のブロック研修への参加推進と、圏域でのフォロー研修を検討する。	A ③継続	県主催研修会への参加を促し、適正な研修の実施ができた。	県主催のブロック研修への参加推進と、圏域でのフォロー研修を検討する。	②継続	
消防	職員研修機会の拡大	職員研修計画に基づき研修を実施した。	少ない経費でより効果的な研修形態の模索が必要。	B ②継続	職員研修計画に基づき研修を実施した。	少ない経費でより効果的な研修形態の模索が必要。	②継続	
ごみ	職員研修機会の拡大	新施設の整備への説明会等への対応として、交渉力向上研修会に参加した。	新施設の整備に向け、必要な能力向上を図るため、研修に積極的に参加する。	A ②継続	専門的な知識の向上を図るため、廃棄物処理施設整備に関するセミナーに参加した。	専門的な知識を身に付けるため、環境関係の研修会に参加する必要がある。	②継続	
(2) 人材の確保								
介護	審査会委員の安定確保	速やかな委員の欠員補充など、安定確保に努めることができた。	25年度委嘱に向けた準備を推進する。	A ③継続	委員の途中辞退もなく、安定した審査会運営ができ、次期委員の委嘱も円滑に行うことができた。	引き続き、安定確保に努める。	②継続	
消防	事務局職員及び派遣職員の受け入れ等による事務の活性化	総務課管理係の業務に派遣職員2名を受入、事務の活性化を図った。	引き続き、派遣職員の受け入れを要望する。	B ②継続	総務課管理係の業務に派遣職員1名及び嘱託1名を受入、事務の活性化を図った。	引き続き、派遣職員及び嘱託職員の受け入れを要望する。	②継続	
ごみ	派遣職員の受け入れ等による事務の活性化	環境衛生課長に天草市からの派遣職員を配置。新施設及び処分場拡張に伴う、住民交渉等の進捗が図られた。	施設整備に伴う、増員が必要である。	B ②継続	派遣職員の増員により、新ごみ処理施設整備計画の推進が図られた。	ごみ処理基本計画書及び地域計画書を策定した。	②継続	
(3) 自己啓発の奨励								
消防	職員の派遣検討	熊本県消防学校へ教官として1名を派遣した。	県内消防本部内の輪番計画に基づき派遣を行う。	B ②継続	熊本県防災消防航空隊へ隊員として1名を派遣した。	県内消防本部間の輪番計画に基づき派遣を継続する。	②継続	
消防	自己研鑽支援制度の検討	研修材料となる資料やDVDの配布を実施した。	自己研鑽に関する情報提供を進める。	B ②継続	研修材料となる資料やDVDの配布を実施した。	自己研鑽に関する情報提供を進める。	②継続	
V 財政の健全化								
(1) 事務事業の簡素合理化								
共通	コスト意識の徹底及び歳出経費の重点化と抑制	事務事業の簡素合理化は項目の見直しを行い、財源の健全化の項目で総合的に検証する。	経費の重点化と抑制は長期財政計画に基づき計画的な予算編成が図られている。	④変更	事務事業の簡素合理化は項目の見直しを行い、財源の健全化の項目で総合的に検証する。	経費の重点化と抑制は長期財政計画に基づき計画的な予算編成が図られている。	③変更	
(2) 財源の健全化								
共通	長期財政計画に基づく効率的な財政運営の確保	長期財政計画に基づく、予算編成が図られた。	今後は高額な事業が控えているため、効率的な予算編成に努める。	A ②継続	長期財政計画に基づく、予算編成が図られた。	今後は高額な事業が控えているため、効率的な予算編成に努める。	②継続	
ごみ	長期財政計画に基づく効率的な財政運営の確保	予定していた補修工事を実施したことによって、安定した運転ができ、経費の抑制が図られた。	新施設稼働まで安定した施設の運転に努める。	B ②継続	循環型社会形成推進交付金活用のため地域計画を策定し提出した。予定していた補修工事を実施し、経費の削減が図られた。	循環型社会形成推進交付金を活用する。	②継続	
(3) 使用料・手数料の見直し								
ごみ	使用料等の見直し検討	未実施	新施設の整備工程を考慮しながら関係市町と協議する必要がある。	③継続	未実施	新施設の整備工程を考慮しながら関係市町と協議する必要がある。	②継続	
(4) 公共工事コスト削減対策の推進								
ごみ	新ごみ処理施設整備・運営の民間活力の推進	未実施	25年度から事業手法検討の予定。	③継続	未実施	25年度から事業手法検討の予定。	②継続	
(5) 消防行政の推進								
	救急車輛の現場到着時間の短縮に関する施策	道路交通網の整備状況に合わせた出動区分の再設定による現場到着時間の短縮を随時実施した。 携帯電話・IP電話発信地表示端末装置の整備した。	幹線道路の整備が課題である。	B ②継続	道路交通網の整備状況に合わせた出動区分の再設定による現場到着時間の短縮を随時実施。	現場到着時間の短縮を目標に随時、出動区分の再設定を行う。	②継続	
	自主防災組織の訓練指導等に関する施策	自主防災組織の結成に向けての取り組みと指導を強化した。	自主防災組織の結成の呼びかけを行う。	B ②継続	自主防災組織の結成に向けての取り組みと指導を強化した。	自主防災組織の結成を呼び掛ける。	②継続	
	関係市町及び消防団との連携強化に関する施策	市町部局と連携した総合防災訓練の実施した。	各種災害を想定した総合防災訓練を定期的に継続開催する。	B ②継続	市町部局と連携した総合防災訓練を実施した。	引き続き各種災害を想定しての総合防災訓練を継続して実施する。	②継続	

	救急体制の充実強化に関する施策	救急救命士2名養成(47人) 気管挿管認定救命士2名養成 薬剤投与認定救命士2名養成 救急標準課程6名養成 応急手当要綱の一部改正 MC協議会2回、事後検証会4回	引き続き、行革大綱に 基づき救急行政を推進 する。	A ②継続	救急救命士2名養成(53人) 気管挿管認定救命士2名養成 薬剤投与認定救命士2名養成 救急標準課程6名養成 普通救命講習受講者数1,645人	引き続き行革大綱に基 づき、救急行政を推進 する。	②継続	
	救急高度化事業に関する施策	上記項目と総合的に推進する。	項目の統合		救急救命士再教育 (5年目10年目、15年目各2名)			
	医療機関との連携強化に関する施策	メディカルコントロール協議会を2回開 催、事後検証会を4回開催し、医師の 指導・助言を受け、医療機関との意思 の疎通を図った。	定期的な開催を継続す る。		MC協議会1回、事後検証会4回開催	定期的な開催を継続す る。		
	応急手当の普及啓発に関する施策	普通救命講習受講者数は1,754人で あった。 応急手当の講習の一部をWEB上から 受講できるサイトを設けた。	定期的な救命講習会を 開催し、受講の呼びか けを行う。	普通救命講習受講者数は1,754人で あった。 応急手当の講習の一部をWEB上から受 講できるサイトを設けた。	定期的な救命講習会を 開催し、受講の呼びか けを行う。			
	違反処理体制に関する施策	違反是正事務の整備と予防担当者の 資質の向上に努めた。	違反処理のための専 門的な研修会への職 員の派遣に努め、資質 の向上に努める。	B ②継続	違反是正事務の整備と予防担当者の 資質の向上に努めた。	違反処理のための専 門的な研修会への職 員の派遣に努め、資質 の向上に努める。	②継続	
	防火安全対策に関する施策	住宅用火災警報器の設置推進のため、 消防団・婦人防火クラブによる共同購 入の推進、大型店舗での街頭PR活動、 市町広報紙や防災無線、ケーブルTVを 活用した広報活動のほか、ホームペー ジに掲載した。設置率は75.6%	住宅用火災警報器の 設置率の向上を目標に 本事業を推進する。		住宅用火災警報器の設置推進事業とし て次のとおり実施した。設置率78.4% ・消防団・婦人防火クラブによる共同購 入の推進 ・大型店舗での街頭PR活動 ・各種行事、イベント及び市町広報紙を 活用した広報活動、ホームページに掲載	住宅用火災報知機の 設置率向上に向けて事 業を推進する。		
	危険物施設保安対策に関する施策	危険物規制事務の推進のため立入検 査と、危険物施設事故防止のため各ブ ロック別に研修会を開催した。	各ブロック別研修会 の内容の充実を図る。		危険物規制事務の推進のため立入検 査の実施と、危険物施設事故防止のた め各ブロック別に研修会を開催した。	各ブロック別研修会 の内容の充実を図る。		
	人材育成に関する施策	知識技術の継承を目的に計画的な指 導体制を構築し、年間研修計画に基づ く研修の実施した。	年間研修計画の完全 実施と、研修内容の充 実に努める。	B ②継続	知識技術の継承を目的に計画的な指導 体制を構築し、年間職員研修計画に基 づく研修を実施した。	年間職員研修計画の 完全実施に努めるとと もに研修内容の充実を 図る。	②継続	
	組織の活性化に関する施策	上記項目と総合的に推進する。	項目の統合		応急手当講習の一部をWEB上から受講 できるサイトを設けるなど、ホームペー ジ掲載内容の充実を努めた。	住民が参画しやすい ホームページの内容の リニューアルを検討す る。		
消防行政への住民参画に関する施策	応急手当の講習の一部をWEB上から 受講できるサイトを設ける等、ホーム ページ掲載内容の充実を努めた。	住民が参画しやすい ホームページの内容の リニューアルを検討す る。						
(6) 廃棄物行政の推進								
	長期的な施設管理運営計画の策定	31年度までの施設補修計画を作成し た。	計画に沿った補修を 実施する。	B ②継続	31年度までの施設補修計画見直しを 行った。	計画に沿った補修を 実施する。	②継続	
	施設排出基準の順守と環境保全対策 の推進及び情報提供	規定の検査を実施し、基準の遵守に 努めた。維持管理情報はホームページに 掲載を開始した。	定期的な情報の公開 に努める。		規程の検査を実施し、基準の遵守に 努めた。維持管理情報はホームページに 掲載した。	定期的な情報の公開 に努める。		
	関係市町との連携によるごみ減量化の 推進	23年12月関係市町担当者会議を開催 し、分別、事業系ごみの取組みを協議 した。 許可業者の搬立合いを実施、関係市 町にも協力を要請した。	今後も関係市町と連 携した取組みを実施 する。		関係市町担当者会議を3回開催し、分 別項目の拡大についての取組み等を 協議した。	今後も関係市町と連 携した取組みを実施 する。		
	現存施設の延命化施策	31年度までの施設補修計画を作成し た。	計画に沿った補修を 実施する。		計画していた両センターの中央制御シ ステムの更新を実施した。	計画に沿った補修を 実施する。		
VI 公正の確保と透明性の向上								
(1) 情報公開条例、個人情報保護条例に基づき、公正で開かれた行政の推進								
	総務	情報公開条例、個人情報保護 条例に基づき、公正で開かれた 行政の推進	情報公開条例に基づく行政文書の公開 を実施した。	ホームページを活用し 情報の公開に努める。	A ②継続	情報公開条例に基づく行政文書の公開 を実施した。	ホームページを活用し 情報の公開に努める。	②継続
	消防	情報公開条例、個人情報保護 条例に基づき、公正で開かれた 行政の推進	防火対象物関係の図面等の交付等情 報の開示を行った。	適正な情報公開に努 める。	A ②継続	防火対象台帳の写しの交付など、42件 情報開示を行った。	条例に基づき、適正な 情報開示に努める。	③変更

【今後の方向性区分説明】

①	完了	目標どおり取組みが完了したもの
②	継続	本年度の取組みを完了し、引き続き次年度以降も推進していくもの
③	変更	計画の見直しにより、次年度以降の実績項目や取組み項目を変更するもの
④	中止	計画の見直し等により、実施項目や取組み項目の推進を中止するもの